

安全・景観・環境を提案する"群交協"

発行
群馬県交通安全施設業協同組合
前橋市大手町1-2-6 ☎027-223-3343

発行責任者 中井正弘
編集発行人 武田彰

第74号

群交協だより

URL:<http://www.gunkoukyou.com/>

平成30年8月15日 発行

第三十八回 通常総会開催

当組合の最重要行事である群馬県交通安全施設業協同組合第三十八回通常総会が、去る平成三十年五月二十四日(木)群馬ロイヤルホテルにおいて開催され、当組合員全二十二社・賛助会員十三社が出席したほか、来賓として群馬県知事代理の県土整備部長 中島聡様をはじめ、建設企画課長 清水昭芳様、道路管理課長 松井政浩様、道路整備課長 植原稔様、前橋土木事務所長(県土整備部参事) 山口修様、群馬県警察本部交通部 交通規制課長 唐沢康夫様、県議会からは当組合の顧問でもあります狩野浩志様、群馬県中小企業団体中央会専務理事 小林雄二郎様のご臨席を賜りました。

来賓の皆様からは、「交通安全施設の整備を通じ、県民の安心・安全な交通環境作りに尽力していることに敬意を表す」とのありがたいお言葉を頂きました。

主催者挨拶では、中井理事長が「国会では働き方改革の議論が進んでいる。当組合としても専門工事業としての誇りを持って仕事をを行い、魅力ある業界を作っていくとともに、未来を語ることで、感謝される業界にして参りたい」と決意を述べました。

- ◆ 社会貢献事業の実施(道路標識・道路反射鏡の清掃・点検活動)
 - ◆ 県主催イベント事業「ぐんま道路フェア」への参加
 - ◆ 災害時における支援に関する県との協定の継続
 - ◆ 講習会・研修会・研究会の開催による技術の研鑽
 - ◆ 専門事業技術者の養成と資格取得
 - ◆ 行政機関・関連団体との連携と提案活動の推進
 - ◆ 教育情報事業による各部会の活性化等に取り組むことが述べられました。
- その後の議事においては、平成三十年三月三十一日をもって、事務局長を兼任していた野積尚理事が退任され、後任として、小坂橋信夫理事が満場一致で承認され、事務局長として司会をつとめました。議事では平成二十九年度事業報告書並びに収支決算報告、平成三十年事業計画並びに予算案等、第一号議案から第六号議案全てが滞りなく承認され終了する事が出来ました。



新任ご挨拶

群馬県交通安全施設業協同組合

常務理事 小坂橋信夫



今年三月末に県土整備部契約検査課長で定年を迎え、縁あって四月から組合事務局に勤務することとなりました。また、五月の第三十八回通常総会において常務理事を仰せつかり、大任を引き受け、身の引き締まる思いを味わっております。

私が県職員となったのは三十八年前の昭和五十五年です。下仁田町の道平川ダム建設事務所を皮切りに主に前半はダム・河川関係、後半は入札契約制度と下水道関係でした。土木事務所は4土木あわせて九年の勤務しかありませんでしたので、当組合の方々とお仕事をさせていただく機会は非常に少なかったと思います。そんな中、前任の野積常務理事の提案で実現した県土整備部と当組合の意見交換会・懇親会は、契約検査課長として一昨年から参加させていただいており、少なからず顔見知りの方もいたことから、勤務する上で心強く感じていたことは確かです。

現在の社会情勢は、益々、少子・高齢化が進んでいくことから、交通弱者である高齢者や子供達の安全の確保そして年々増加している高齢ドライバーの事故防止は喫緊の課題となっております。一方、世の中の大きな流れである、働き方改革、そして担い手の確保とやらなければいけない課題もありません。しかしながら、言葉で言うのは簡単ですが、どう対応したら解決に繋がるのか、一朝一夕に答えが見つかるものではなく、皆様とともに頭を使っ、さながら、もつれた糸をほどこいていくように、あるいは「知恵の輪」をはずすように試行錯誤を重ねていかなければ、達成できないものだと感じています。

当組合員は、専門工事業者として、道路標識・道路標示・防護柵等、交通安全施設等の整備に携わっており、仕事をとおして、安全安心な地域社会づくりに貢献している方々ばかりです。仕事に誇りと使命感を持ち更に業務に精励していくことがより一層必要と感じております。

このような社会的に意義のある組合の一端を担うものとして、微力ではありますが当組合の発展の一助となるよう、これからも尽力してまいりますので、どうぞよろしく願っています。

最後になりますが、ここ十年ほどは、管理職として過ごしてまいりました。おかげさまで、人にものを頼むのが習いとなっていったなど、また、年齢を重ねるにつれ堪え性がなくなってきたり、考えを改め、皆様からまともな事務局長と思っていただけのようになりたいたと思っていますので、何卒、皆様の忌憚のないご指導とご鞭撻を期待してあいさつとさせていただきます。

社会貢献事業

平成三十年七月五日、六日の両日、群馬県交通安全施設業協同組合では路側式道路標識(交通規制標識・警戒標識・案内標識)、道路反射鏡等の交通安全施設の清掃ボランティア活動を行いました。

今年で十二回目となる今回の清掃活動は、利根沼田地区・渋川地区・吾妻地区の三地区(土木事務所管内)を対象とし、利根沼田地区では三千七百ヶ所程度、渋川地区では三千八百ヶ所程度、吾妻地区では四千ヶ所程度、三地区合わせて一一、五〇〇カ所を超える路側式道路標識や道路反射鏡等、交通安全施設の清掃・点検・角度調整などを全組合員で取り組みました。

さらに破損しているもの、老朽化して危ないものや視認性の悪いものをリストにまとめて道路管理者と交通管理者に報告しました。

五日の作業開始前に各地区の土木事務所ならびに市役所駐車場において出発式を行い、土木事務所・警察署・市町、各々の代表の方にご臨席を賜り、あたたかい激励のお言葉を頂きました。この場を借りて感謝申し上げます。

また、利根沼田地区においては当組合の中井理事長が「この清掃活動はドライバーの安全と安心を守るもの。誇りを持って作業にあたり清掃と同時に安全施設の点検も行い、危険個所の把握にも努めてもらいたい。このような活動が交通事故の減少や交通弱者を守る活動につながる事を理解し、安全に作業に励んでもらいたい」と訓示しました。

今後も、群馬県交通安全施設業協同組合の社会貢献事業の一つとして継続実施してまいりますので、組合員の皆様のご協力と、道路管理者様、交通管理者様のご理解とご指導を引き続きよろしくお願い致します。



新たな道路整備

七つの交通軸の整備が着実に進められており、一般国道二二号館林明和バイパスの延長三・七km、一般国道三五四号板倉北川辺バイパスの延長二・六km、一般主要地方道大間々世良田バイパスの延長二・五km区間のほか三路線において整備済区間が新たに開通し、道路ネットワークの整備が進捗しています。

当組合員も平成三十年三月の道路開通にあたり、区画線防護柵、案内標識、道路規制標識等の工事を県土整備部、市町村、群馬県警察本部から請負わせて頂きました。

また、当組合と県土整備部にて毎年行っている意見交換会の中でも話題となった、近年増加している排水性舗装の区画線劣化対策の必要性から、三種類のライン材料を用いて、排水性舗装での区画線耐久性フォローアップ検証を国道一二二号と大間々世良田バイパスの工事に併せて開始しました。

今後は、箇所ごとに三ヶ月周期にて経過観察を行い、検証結果を取りまとめ、耐久性向上に向け、製品の開発や技術の研鑽に努めて参ります。



一般国道354号板倉北川辺バイパス



一般主要地方道大間々世良田バイパス



一般国道122号館林明和バイパス

■組合員

ダイケンテクノ(株)・(株)日装・(株)中井産業・富友産業(株)・群馬ライン企画(株)・新日東(株)・(株)コムテックス・(株)サンテック・(株)三積商事・サン(株)・共進安全(株)・三菱産業(株)・昭和サイン(株)・(株)信交・(有)高崎保安機材・中央ライン(株)・(株)日栄ライン工業・(株)ヒロタ・富士技工(株)・マーキングウェイ(株)・(株)三山・(株)友邦

■賛助会員

(株)アークノハラ交通施設部東日本ブロック那須営業所・(株)吾妻商会交通用品部・アトミクス(株)・岩澤建設(株)群馬支店・岳南光機(株)・信号器材(株)北関東営業所・新道路企画(有)桐生支店・スリーエムジャパン(株)トランスポーターセーフティ事業部・積水樹脂(株)群馬工場・燕振興工業(株)・日鉄住金防蝕(株)道路資材グループ(群馬)・扶桑工業(株)群馬営業所・ヨシモトポール(株)関東支店